

議題（４）北急延伸に伴うバス路線の再編に関する市民説明会の実施結果について

1. 市民説明会実施結果概要

（１）開催日程及び参加者数

月	日	曜日	時間	場所	参加者数
3	3	日	14:00～ 15:40	みのお市民活動センター 多目的室 【日曜開催】	52
	4	月	19:00～ 20:30	とどろみの森学園 地域開放室 【北部開催】	6
	5	火	19:00～ 20:30	東生涯学習センター 講座室 【北東部開催】	42
	6	水	19:00～ 20:30	箕面文化・交流センター 大会議室 【西部開催】	44
	7	木	19:00～ 20:35	多文化交流センター 講座室B・C 【南東部開催】	25
	8	金	19:00～ 20:15	船場生涯学習センター 会議室1A・1B 【中部開催】	14
合計					183名

※上記の他、以下のとおり、自治会から依頼を受け、出張説明会を実施。

月	日	曜日	時間	自治会	参加者数
3	2	土	19:10～ 19:40	間谷住宅自治会	50
	9	土	13:00～ 14:15	栗生第四住宅自治会	25
	9	土	16:00～ 17:40	如意谷地域の3自治会合同	27
合計					102名

2. 市民説明会で寄せられた主な意見

【全体】

- ・バスを「乗って残す」という意識づけはとても重要。
- ・若者に利用してもらいやすいようにするためには、アプリ等、スマートフォンから検索しやすい環境の整備や、通勤に使いやすいダイヤ設定をする必要がある。
- ・北急延伸をととても楽しみにしている。便利になるところも不便になるところもあると思うが、課題については、継続的に検討して解決に向けて頑張ってもらいたい。
- ・阪急バスとオレンジゆずるバスの運賃制度（定期券等）の共通化を検討してほしい。

【西部地域】

- ・箕面中央線の運行本数が減って不便になる。
- ・箕面駅から市立病院へ路線バスで行けなくなる。
- ・箕面駅から千里中央へ路線バスで行けなくなり、鉄道と乗り継ぐ必要があるため、運賃負担が増加する。
- ・箕面駅から箕面萱野駅へ運行するバスの運行本数が減少しており、不便になる。

【中部地域】

- ・新駅の周辺では、特に雨の日などに自動車での送迎が増えるなど、渋滞が発生することが懸念される。
- ・船場地域から箕面駅や彩都地域など、これまでバス1本で行けたところが行けなくなるので不便になる。
- ・如意谷線について、社会実験路線としてであっても運行を継続されるのは非常にありがたい。自治会としても路線存続にむけた利用促進キャンペーンの実施について検討中。

【北東部地域】

- ・北千里駅へアクセスする粟生団地線の本数が減って不便になる。
- ・箕面山麓線など、「利用して」と言われても本数が少なく、終発の時間も早いので不便で利用しにくい。
- ・オレンジゆずるバス赤ルートが、小野原地域へ行かなくなり、かつ、一方通行のルートとなり不便になる。
- ・東部地域にとってバス交通は非常に重要。阪急バス・オレンジゆずるバスともに運行を守ってほしい。

【南東部地域】

- ・小野原地域から箕面船場阪大前駅・箕面萱野駅・箕面市西部地域へ乗り換えせずに行けるようになるのはありがたい。
- ・オレンジゆずるバス赤ルートが、小野原地域を運行しないルートとなり不便になる。
- ・箕面小野原線は、東西に長い社会実験路線だが、その評価・見直しにあたっては、東西の地域ごとに利用状況を分析するなど、地域ごとの利用状況に応じて路線が存続するようにしてほしい。

【北部地域】

- ・バスを利用しなくてもトンネル代がかかるなど、北部地域の住民の生活には交通費が非常に負担になっている。
- ・阪急バスの運賃改定における値上げ幅が他の地域に比べて高い。
- ・北部地域から南部地域へはバスを利用するしかなく、箕面森町線は、箕面萱野駅ができてバス利用者が減ることはないはずなので、千里中央まで直通で運行してほしい。